

新たな食料・農業・農村基本計画に関する国民からの御意見・御要望について(第12回)

透明で開かれた政策決定プロセスを取る観点から、国民の皆様から御意見・御要望を広く募集し、食料・農業・農村政策審議会企画部会における議論に活用。

第11回の募集は、今までの議論に対する御意見・御要望について、インターネットや郵送、また地方農政局等を通じて平成21年12月17日から平成22年1月14日まで御意見・御要望を募集。(計64件)

今までの審議会の議論に対する御意見・御要望の一部を紹介すると以下のとおり(原文のまま、抜粋)。

食料供給地、国土環境保全、自然景観や資源としての農山村地域の重要性を理解し、維持するために、学校教育の中に農村体験や農業従事者との交流を増やす。農業体験ツアー、都市部と農山村の交流を通して農村への理解を得る。農山村のサテライトショップ、ファーマーズマーケットなどを拡充し、農山村の加工品開発、販売をビジネス化する。

私どもの周辺でも、休耕地を借り受けたり、町村の仲介で借り受けた土地での市民農園の普及には目を見張るものがあります。中には河川敷の農地利用にまで進んでいます。管理・運営上の課題があるとはいえ、農や食に対する関心の表れとして、歓迎してしかるべき現象と考えています。こうした状況に対応するような援助策を考えることも重要かと考えます。

現代の子供達は作物ができるまでの過程は教科書でしか知るすべがないのが大半でしょう。土に触れる機会を与え、収穫する喜びを教えるのが生きていく上での重要な教育であると思います。また新たな交流については、昨今見られる農家への体験型観光。受け入れ側の賛否はあるでしょうが、農村の活性化につながると思います。

農業の6次産業化を現実のものとしていくのに、各地域が(特に各首長)このことを理解し、実行していくのなら未来はあるのかもしれない。しかし、今の各行政のやる気のなさにはうんざり。自分で企業体を作り、自分で地域を守るという気持ちを持ち、再生させるしかないでしょう。

農村の再生・活性化に向けて取り組む方向が提示されているが、これ以上農村が疲弊することのないように国民全てが美しい日本の国土を守る為にも考えていかなければならないことと思う。「農村の6次産業化」により雇用と所得を確保するとともに農村の新しい地域社会の機能を維持するために、大いに期待する。

性別	年代	都道府県	職業	御意見・御要望の分野	御意見・御要望の内容
男性	50代	山形	その他	企画部会(第16回)の資料及び議論	現在の審議会メンバーによる論点は出しつくしているように感じる。メンバーチェンジによる現実的ビジョン、財源の裏付けを踏まえた新たなディスカッションを希望する。
男性	60代	山形	その他	農村振興、中山間対策	今は中山間地の集落自体が大変な危機状態にあると思います。まずは、ここから立て直していかなければならないのでは。そのためには、農業と林業の復興が一番手っとり早いのではないのでしょうか。さらに人材の育成や休耕地、耕作放棄地の解消、里山の利活用などを実行し、自給率を上げるとともに、産物の流通と価格安定、安心して集落で生活できるような政策をお願いします。 JAについて一言。今までのJAは、金融や保険、購買などJAのためのもので、農家のためのものではなかったように思われます。JAは原点に立って、農家に何をしてあげたら良いのかを考える時と思います。行政からも是非良いアドバイスをお願いします。
男性	70代以上	山形	林業	農地、耕作放棄地対策	耕作放棄地対策をお願いします。
女性	70代以上	福島	主婦	企画部会(第16回)の資料及び議論	食料供給地、国土環境保全、自然景観や資源としての農山村地域の重要性を理解し、維持するために次のことを考えました。 ①学校教育の中に農村体験や農業従事者との交流を増やす。 ②農業体験ツアー、都市部と農山村の交流を通して農村への理解を得る。 ③農山村のサテライトショップ、ファーマーズマーケットなどを拡充し、農山村の加工品開発、販売をビジネス化する。
男性	60代	福島	その他	企画部会(第16回)の資料及び議論	市民農園区画数の推移を見ると年々その数が増加しています。私どもの周辺でも、休耕地を借り受けたり、町村の仲介で借り受けた土地での市民農園の普及には目を見張るものがあります。中には河川敷の農地利用にまで進んでいます。管理・運営上の課題があるとはいえ、農や食に対する関心の表れとして、歓迎してしかるべき現象と考えています。こうした状況に対応するような援助策を考えることも重要かと考えます。
女性	50代	福島	主婦	企画部会(第16回)の資料及び議論	教育の場としての農村の活用や新たな交流需要の創造の計画については、高い関心を寄せました。現代の子供達は作物ができるまでの過程は教科書でしか知るすべがないのが大半でしょう。土に触れる機会を与え、収穫する喜びを教えるのが生きていく上での重要な教育であると思います。また新たな交流については、昨今見うけられる農家への体験型観光。受け入れ側の賛否はあると思いますが、農村の活性化につながると思います。

男性	30代	福島	農業	企画部会(第16回)の資料及び議論	農業がこれだけ疲弊したのは政策の誤りであり、現場の実情を中央が見てこなかった責任が大きい。農家自体も体力を失い、固い頭がわざわざいしたものの。しかし、まずは農業の6次産業化を現実のものとしていくのに、各地域が(特に各首長)このことを理解し、実行していくのなら未来はあるのかもしれませんが、しかし、今の各行政のやる気のなさにはうんざり。自分で企業体を作り、自分で地域を守るという気持ちを持ち、再生させるしかないでしょう。
男性	50代	福島	農業	自給力・自給率、食料安全保障	食料自給率の向上は以前から50%などと国は言ってきたが、基本的な施策が見えてこない。農業は経済活動のみならず、国土の多面的機能の維持に大きく貢献している。農家の所得補償と農産物の価格補償も実施すべきである。一部の都市部を除けば地方の発展にもつながってくるのである。
男性	70代以上	福島	その他	地産地消、食育	「金融危機」の後には「食糧危機」が来ると言われている。今や我が国の食料自給率は40%。国民が輸入食料なくては生活できないのが現実となっている。「飽食時代」はすでに終わり、食の安全確保が重要視されなければならない。食の大切さ、ありがたさを今こそ教育し、食べ物を大事に食すことを幼少時より根本的にしつけることこそ肝要である。
女性	70代以上	福島	その他	地産地消、食育	学校給食の中に「自分の手作りの弁当の日」を設置。実体験をした後の子供の声。 <ul style="list-style-type: none"> ・食材を買いに行きびっくり。肉、魚、野菜、その他の食品は外国産が多かった。→「食の外国依存」 ・食の安全・安心面からも国産もの、地場産のものを使いたい。 ・給食のおばさん達やお母さんの大変さがわかった。 以上のように、子供たちは実践を通し「食への関心・意欲」が高まり、地産地消の意識化も図れたと思う。学校給食の中での「食育」の一端を知り感銘した。
女性	50代	福島	農業	農業生産	水稲種子4.7ha作付。米価格が年々下がり続けているため、収入も150万円単位で減り続けています。去年は肥料、農機具、軽油等が高騰し、ほかに改良区費、水利費、税金等経費がかかりすぎました。また、地区圃場整備中で2haの減反(補償金はなし)のため厳しい年になりそうです。外米輸入を削減し、経費に見合った販売価格の設定をお願いいたします。水田を手放す人が多く、面積拡大にはチャンスですが、水田の維持・管理費も大変です。天候に左右され、身体も酷使しなければなりません。農業者で誇れる人生でありたいため汗水を流しています。良き政策を。
男性	60代	福島	農業	農業経営、担い手	現在、耕作地の80%が借地です。賃貸料の負担が大きいため収益が上がりません。国で一時借り上げ、安い金額で農家に貸し出すことを考えていただければと思います。24軒あった農家も現在5軒で、専業農家は私1人です。農地を守るために頑張っておりますが、若者に希望を持てる農業を考えてほしいと思います。 なお、減反大豆3haを作付けしておりますが、22年度の大豆交付金3万5千円では採算がとれません。

男性	50代	福島	会社員	農業経営、担い手	自分は自然を相手にする仕事が人間本来の仕事であり、これで生活基盤が確保できれば自分もやりたいと思っている人間です。自然を相手に仕事をすれば、ストレスもたまず、人間らしい人間性を確立できると確信しています。ただ、飛び込めないのが収入の問題です。ただ国に頼るだけでは解決しないと思っています。自ら考え、自ら発想し、自ら行動して未来を切り開いていくことが大切と考えています。
女性	40代	福島	その他	農業経営、担い手	我が国の小規模農家の割合は高く、兼業農家となっています。小規模農家の場合、機械の購入等にしても非合理性があり、現役である高齢農業従事者が引退後はその子供による完全な週末農業になると考えられます。週末農業では手入れがゆき届かず、農薬を大量に使用するなどの弊害が出てくると思います。我が国の農業を維持していくためには、小規模農家から大規模農家に切り替えていく必要があるのではないかと思います。
女性	30代	福島	主婦	農業経営、担い手	「農村の6次産業化」について、①2次、3次産業との連携は個別ではなく、国が交流の場を設けないと、なかなか接点がないのではないのでしょうか。②また農業サイドによる取組の中で、生産、加工、流通(販売)の一体化とありますが、加工、流通、販売部分を指導する支援業者による研修等、農業者のスキルアップのためのフォロー体制を整備、支援することが必要であると思います。
男性	60代	福島	その他	人材育成、雇用確保	都市部では高校生以下が夜型になっており、朝起床できなくて、登校できない生徒が増加している。(報道によれば)これを自然体に戻すためにも、動物(牛、馬)の世話をさせ、牧畜の生活をさせる。そしてその中から、農について理解させ、将来の人材の養成をする。 戦後我々の育った時代は農繁休暇があり、小、中学生の時から農の担い手であった。非農家であっても農業を手伝い、地域全体に役立っていた。 都会から農に関心のある若者を受け入れ、単なる詰め込みの勉強より効果があると思う。社会全体としては、楽をして暮らしたいというのは問題である。
男性	70代以上	福島	農業	農村振興、中山間対策	高齢農業者から若者への移行、斡旋があってもよいのではないかと。会計事務の簡素化。法人化がよいのか。
男性	70代以上	福島	その他	農村振興、中山間対策	先祖から受け継いだ農地を維持できなくなった現実を憂慮する。(10年間で約5千の集落の減少。)資料(1)、(2)を読ませていただき、政策として計画は結構だと思えます。現状に則した取り組みを願うのみです。 農業、農村が崩壊すれば、日本の将来は危機的状況になると考えると、物質的繁栄のみでは果たして国土を守ることになるだろうか。
女性	60代	栃木	その他	企画部会(第16回)の資料及び議論	農村の再生・活性化に向けて取り組む方向が提示されているが、これ以上農村が疲弊することのないように国民全てが美しい日本の国土を守る為にも考えていかなければならないことと思う。「農村の6次産業化」により雇用と所得を確保するとともに農村の新しい地域社会の機能を維持するために、大いに期待する。農業・農村が元気になる世の中になるよう願うものであります。

男性	60代	群馬	その他	技術、環境	食材の残りを家畜の食料に。現在家畜の食料の大半は輸入に依存している。当地草津では宿から排出される食材が大量にある。これを集めて二次加工して家畜の食料にする。このリサイクルシステムの事業化により、将来人の食料としての家畜の育成に寄与する。全国には数万の宿があり、このリサイクルシステムを完成させれば、家畜の食料の確保に繋がり、巨大な再資源化経済が成り立つ。今度誕生した観光庁と協議して欲しい。
男性	50代	新潟	マスコミ	企画部会(第16回)の資料及び議論	農村振興の一環としてスタートしている「子ども農山漁村交流プロジェクト」が果たして軌道に乗るかどうかが注目される。子どもたちへの教育的効果は当然だが、それ以上に深刻な過疎や高齢化に直面している受け入れ側の農村がまとまり、かつ水準の高い体験レベルを提供できるかが課題だ。本県ではプロジェクトが求める水準と評価基準を合致させる試みにチャレンジし始めたが、その後はどう実践されているのだろうか。継続してプロジェクトが行われるようレベルアップを図って欲しいものだ。 それが、プロジェクトを通じて地域の活性化や担い手対策につながれば何よりだ。農村再生へ向けた地域住民の熱意を国・自治体の粘り強い支援や指導が相まった取組が求められる。
男性	50代	富山	農業	企画部会(第16回)の資料及び議論	国民的議論の実施状況を読んで。 食料・農業・農村の基本的計画は、どのような政党が政権を取ろうと、変えてはいけない。国家百年の体系で計画してほしい。現在のように農業施策が「猫の目農政」と言われないようにしてほしい。どれだけの行政、指導者、農業者等が思い悩んでいる事か。 また、計画だけ立派でもいけない。すぐ目の前に課題が山積みとなっているので、即実行してもらいたい。国は、行動が遅すぎる。少しずつでも解決策に取り組みれば、課題も克服できる。
男性	50代	富山	農業	企画部会(第16回)の資料及び議論	高齢者の農村での生活は、季節による変化に富み、また、農作物や工芸作物等の取組みを行えば、健康の維持と痴呆症の防止に役立つと考えられる。また、低度の介護・食事等いろいろな仕事の創設も図られる。日本全国に、農山村地域での高齢者の理想郷を設置したらどうだろうか。医療費の負担よりも健康で、人間的な余生を送れるような環境作りを進めて欲しい。
男性	50代	富山	農業	企画部会(第16回)の資料及び議論	○農村の6次産業化 農村には、いろいろな資源が豊富にある。しかし、農業者(特に高齢者)は、現在の農作物生産と地域の社会の維持等に、力を使い果たし、新たな産業化への意欲は出てこないと思われる。資源と産業を結びつけてくれる公的で、意欲のあるプロデューサーを派遣してもらいたい。また、そのような特異的な能力を持つプロデューサーを講師に、人材育成研修会を実施してほしい。
男性	50代	富山	農業	技術、環境	国には、研究成果や特許等知的財産を所有しているが、それを利用したいものには、無償で提供し、国の指導・支援も行いながら、地域での産業化を図るように仕向けたい。

男性		静岡		企画部会(第16回)の資料及び議論	(関東ブロック教育ファーム意見交換会開催のお知らせに対する意見) チャンチャラおかしいとまでは言いませんが、似たような会議に国費を無駄遣いしてやっているとしたらマスコミが騒いでも良いくらいの会議がすでに行われております。 http://www.maff.go.jp/j/keikaku/k_aratana/iken_index.html この資料と議事録を見れば、ほとんど問題点がわかりますよ。おそらく現場知らずの天下り東大関係者の言葉がもっとも的外れなのと六次産業論も30年前の話です。農家が食品産業をやれなんて無理なんです。ノウハウもスキルもないんですから。だからお互いに分業して雇用が生まれているのです。 農家全員が六次産業になってしかも子供の受け入れまでやれても地域の他の失業者が増えるだけで意味がありません。局所最適解を求める議論を延々やっても全体最適のモデルや定理や公式にはなりません。農林省がM-1の予選落ちレベルの漫才集団だと現場があきれます。
女性	30代	滋賀	主婦	地産地消、食育	現在も田んぼのオーナー制度や収穫体験などの催し物が行われていますが、収穫体験の日数を増やしたり、収穫した米を米粉にしてパン作り教室を開くなど、催し物の回数を増やすのはいかがでしょうか？パンの原料にする米粉が国産で、さらに作った場所もはっきりしていれば同じパン作りでも安心度が高まりますし、子供の食育にもつながると思います。
男性	40代	滋賀	会社員	その他	新規需要米(飼料米)を畜産業者に納入するにあたり収める米の成分等(消費能力)が幅広く異なり又乳牛は特に乳量に反映する為非常に難しく新たに機械の導入が不可欠になる可能性があり個人農家にも農業法人並みの助成金の検討と今後の農業改革(国内自給力・担い手)が継続されるようにお願いします。
男性	70代以上	大阪	農業	企画部会(第16回)の資料及び議論	新たな食料・農業・農村基本計画で農村の振興について農商工連携して1次～3次から6次産業へ計画されているが、日本の農業は昔から小規模農家で2世代3世代で同居し、農繁期を家族で行ない、それ以外を出稼ぎで生計を立てていた。 戦後、企業が活発になり若い人が地元を離れて大都市に就職したからであり、これからは退職者等をふる里に帰して農業を行えるよう、国、地方、JA農協、又地元に残った人と連携して農地を守り、地方に明るさを見る様な施策を考えてやるのが、大都市、地方共働できると考える。
男性	60代	大阪	流通業	企画部会(第16回)の資料及び議論	今までに企画されたことの進展や結果の分析がされていない
男性	60代	大阪	流通業	企画部会(第16回)の資料及び議論	TV(NHK)やインターネットでの取り組みやPR時間をもっと増やし、一般大衆の目に触れるようにする(モニターしているので資料が来ますが、今までほとんどわからなかった)

男性	50代	大阪	その他	企画部会(第16回)の資料及び議論	農業の6次産業化は、2次、3次産業の資本を1次産業に呼び込んで農産物の付加価値を高め、農業・農村の所得を高めようとの構想だが、2次・3次産業が農業を席捲することが懸念される。農業の所得増加は、食料輸入政策の見直し、農業の再生産に見合った価格・所得保障政策が確立してこそ、成り立つものである。それを避けて、6次産業化を図っても解決にはならない。
男性	70代以上	大阪	農業	自給力・自給率、食料安全保障	自給率を50%と言われるが、最近、共働きの世帯が多くなり朝食はコーヒー、夕食外食という人が多い。朝食、夕食家族一緒に食事をするのが自給率の向上につながる一方、家族のコミュニケーションにつながり、世の中が平和になると思う。
女性	50代	大阪	主婦	自給力・自給率、食料安全保障	09年12月16日付けの朝日新聞の全面広告「食料自給率を上げるためにわたしたちに何ができる？」を見ました。食料自給率が何かがよくわかりました。こういう『わたしのアクション』を国民から募集するのは、とてもよいことだと思います。どんどん実施してほしいです。
男性	70代以上	大阪	農業	食の安全、消費者の信頼確保	食の安全は都市農業程、農薬使用問題が多いため使用は少ない。大規模農家の方が使用されている(消費者が見た目が厳しい点) 大企業程、偽装等が行なわれている。食の教育を行政が行なうべきである。
男性	70代以上	大阪	農業	農業経営、担い手	・生産資材、主に肥料、農薬等の価格の引下げを願いたい。 ・鳥害の対策を検討してほしい。
男性	60代	大阪	農業	農業経営、担い手	農業とは国民にどこまで理解されているのか。自給率40%はきびしいですね。世界的に大災害が起きない限り大きな変化は望めないです。あらゆる国の支援して頂きそれでも農業はやっていけない。第1に収益があればどんな事があっても後継者でなやむ事はない。私も農業者の1人としてくやしいです。それなりに創意工夫して成功してる人もいますが、現実は今から先、食の大切さ、自然環境、多面的機能、農業の重要性をもっとPRして(消費者と生産者、都市と農村)反映してほしい。
男性	60代	大阪	流通業	人材育成、雇用確保	現在の非正規採用労働者を農業や農村に充当させる方式を検討
女性	50代	大阪	主婦	農村振興、中山間対策	農村の振興について、興味深く資料を拝読しました。特に注目したのは「再生可能エネルギー利用の推進活動」です。資源を大切に有効利用することは、とてもいいことですし、それが地球温暖化対策にもなるなんてスバラシイと思います。おおいに期待します。
男性	50代	大阪	その他	農地、耕作放棄地対策	指定作物を設け税制融資を優遇してそれらさくもつのふきゅうをはかられてはどうでしょうか？

男性	50代	大阪	農業	農地、耕作放棄地対策	担い手不足や高齢化の為、当地域でも耕作放棄地や見せかけ農地が多く市民の皆さんに良い印象を与えていない。よって少しでも減らさなければならない。これからも各機関一体となって取り組むべきだと私も思います。
男性	60代	大阪	マスコミ	農地、耕作放棄地対策	耕作放棄地は、斜面や山間地区に多いので、再生して農地に利用するよりも日当りの良さなどを生かし、太陽光発電パネルの設置場所として活用できないか。農→農の再生だけを考えるのではなく、国土利用の視野が求められると思う。
男性	60代	大阪	流通業	その他	極論であるが、第3次産業や単なる金融投資で簡単に金もうけした者への課税が低すぎる。誰もシンドイ仕事はしないので、課税のあり方を根本的に変革する
男性	60代	奈良	農業	農業経営、担い手	シニア世代による新規農業経営者を育成する。団塊世代の知恵を結集する仕組み(補助等)を作り上げ、異業種での経験を農業に活用する。
男性	60代	奈良	農業	技術、環境	農業は元来自然エネルギー(特に太陽光)を利用して作物生産してきました。その意味からは自然エネルギーの活用に関しては進んでいます。なぜ太陽光発電を農業に取り入れる助成がないのか不思議です。ぜひ農業施設に関する太陽光発電補助金を出してください。
男性	60代	奈良	農業	技術、環境	高齢化によって農産物の嗜好が大きく変わろうとしています。栄養素を保ちながら、食物繊維等を多くとる観点から乾燥食材が要望されています。日本でも黄砂等に含まれる有害物質で本来の天日乾燥が問題になっています。そこで日本の優れた産業用乾燥技術を活用して、低温・殺菌乾燥装置等を開発し、安全な競争力のある農産物を作付けから加工まで行う事ができないか。
男性	60代	奈良	農業	その他	私は妻と母が脳梗塞による身体障害者です。2人のリハビリには、手先を使う農作業(車いすに座っても)が大変有効なことが経験上解りました。高齢化社会には人材活用という意味での農業(バリアフリー農業)の持つ役割を再評価しています。福祉と言う観点から農業を捉えてください。
男性	40代	和歌山	公務員	企画部会(第16回)の資料及び議論	議事概要p3 大学生との農村交流:積極的に進めてもらいたい。学生がグリーンツーリズムや耕作放棄対策等農村交流を行い、また農水省職員が高校や大学、消費者等に出向いての政策説明や講義も重要。私も経験があるが、後で教授や学生と語り合うと大変よい刺激になる。学生は最新の行政を知りたがっており大学側も授業の意義・位置づけが示され喜ばれる(教授も専門外は話が出来ないジレンマがある)。予算は、募集して優れた内容とテーマに予算付けし論文提出させ、研究機関や産業界との連携もよい。

男性	40代	和歌山	公務員	企画部会(第16回)の資料及び議論	議事概要p3 観光業界も巻き込んだ形の観光立国には例えば従来の道の駅やサービスエリアへの出品に加え、(鉄道や飛行機の車内販売があるが)長距離バスの飲料や軽食、記念品等販売(販売人は乗らず品物を置き運転手に任せてもよい)、道路等大型公共施設は整備済みであるが休憩力所や案内標識等整備が十分でなく人が来ていない絶景地の簡易整備や新規店舗等への観光ルートの誘導などがあると思う。
男性	40代	和歌山	公務員	企画部会(第16回)の資料及び議論	資料1 都市と農村の交流等 p8 教育の場としての活用と新たな交流需要の創造 教育と観光の連携はどうか。世界遺産は教育にも観光にもなる。農山漁村で自然や歴史、伝統・文化に溶け込み俳句や短歌、古文、絵画や音楽で感性を育むとともに大学生との農村交流のテーマもよい(第14回意見募集で人間の尊厳を尊重した経済学をと意見したが、本資料はこの方向の発展性が期待。ケダモノの市場原理主義思想から脱却し人間として大切な感性を育む絶好の施策)
男性	40代	和歌山	公務員	企画部会(第16回)の資料及び議論	第16回 資料1 p11 (3)教育・医療・介護の場としての農山漁村の活用 是非積極的に進めていただきたい。私はここに人間と歴史・伝統・文化・自然との一体、例えば民俗舞踊・語り部・昔話などを一事例として紹介するとよい。高齢者が地元の話若者と語り合うことは高齢者を元気づける。交流には人と人、人と自然の空間的交流とともに「日本の昔話」にみられる先祖や昔の人など歴史との交流もある。農山漁村には都市にはない交流に相応しい潜在的な地域資源が膨大にあり、これら多様な交流が地域住民を刺激して活気づけ教育・医療・介護に役立つ。
男性	40代	和歌山	公務員	企画部会(第16回)の資料及び議論	第15回資料3 技術・環境政策の総合的な推進 p9及び第16回資料 農村の振興 グリーンニューディールと言えば環境関係の積極財政政策であるが「日本版」の特徴は企業も農家、NPO、行政、研究機関、大学等も“共同(協働)”で地域社会を盛り上げる人間の尊厳を尊重した点。戸別所得補償と地域資源活用の地域共同体による「日本版」グリーンニューディールにより農山漁村から「日本版」ルネッサンス興隆を期待(従来のルネッサンスは個人の能力と人間性発揮であるが「日本版」ルネッサンスは共同(協働)による絆強化に伴う美しく活力の漲る地域社会(風土)形成)。
男性	40代	和歌山	公務員	企画部会(第16回)の資料及び議論	資料1 p23、24 農山漁村活性化ビジョンで地方公共団体と関係府省庁との連携、地域住民、企業、NPOとの協働や役割分担は重要。中核となる都市や市町村を基点に圏域を想定し圏域活性化には何が必要の視点は重要。そのためには市町村企画部門の地域を牽引する役割が重要となることから、ここにどの様にサポートしていくかが重要テーマと思う。

男性	40代	和歌山	公務員	企画部会(第16回)の資料及び議論	資料1 農村の6次産業化 第15回企画部会資料「技術・環境政策の総合的な推進」と併せ読むと面白い。第15回は研究と民間に向けた資料であったが、今回(16回)はこれを通して農山漁村地域の再生・活性化、地域との連携まで踏み込んでいるところがよい。今後、地域主体の地域に根ざした産業振興に向けてどの様に農家、地域住民、NPO、市町村等が関わるかが見えるとよい。例えばバイオマスは広く薄く存在しており、伐採残木、剪定枝・枯れ枝や木の葉等の林家や農家、住民参加での収集は掃除も兼ねて有効と思う。
男性	40代	和歌山	公務員	企画部会(第16回)の資料及び議論	議事概要 p2 平田委員の内容に賛成。食料増産も農村コミュニティ活性化も両立でき方向性は同じと思う。6次産業やグリーンニューディール推進で農業・農村を振興し多面的機能へ直接支払いを行い、増産による価格下落には所得補償と新規販売開拓や輸出促進などが重要。そこで農水省の職員を思い切って新たに大使館等の海外派遣を増員したり、他省庁(文部省、経済産業省、国交省(観光庁)等)との交流人事を促進したりしてもよいと思う。
男性	40代	和歌山	公務員	企画部会(第16回)の資料及び議論	次回、戸別所得補償での意見でもよいかもしれないが、農村交流等に伴い、 1. 大学生等の経済学専攻者が人間の尊厳を尊重する経済活動(相互扶助、地域医療、地域コミュニティ等)を現場で実感し、枕草子の様に小さきもののうつくしきの重要性を感じる事が可能となる。 2. 「戸別所得補償は農家の生活基盤とともに多面的機能発揮や地域コミュニティ活性化など“地域社会の岩盤”でもあり、家族労働8割と自助努力2割によりモラルハザードでなく、国民がほんの少し懐を痛めるだけで同胞の農家に安心・安全なものを作って戴けるという日本人の共同体意識の顕れ」をPRする絶好の機会でもある。(自由な経済活動と全ての構造改革と困り込みの否定ではなく、小規模農家排除は世界史上の悲劇イギリスのエンクロージャーと同じになることに注意すべき。)
男性	40代	和歌山	公務員	企画部会(第16回)の資料及び議論	観光、環境、農業、教育の関連は重要。人類の大地への歴史的な働きかけの営みが現在の姿であり、美しく活力の漲る農山漁村はそれだけ過去から現在へ働きかけが引継がれている証。戸別所得補償で農家・農地を守ることは、現在の農家のみでなく先祖代々の営みを大切にしている歴史的な意義がある(その意味で耕作放棄地ほど“勿体ない(互いに多くの縁で繋がっている状態をなくする)”ものはない)。農業は経済のみでなく観光、環境、教育等多面的機能を有し美的感受性を呼び覚ます上で重要。
男性	20代	和歌山	公務員	食料・農業・農村政策審議会企画部会の資料及び議論	テーマ①(中山間地域等直接支払事業)について 第3期対策においては集団的サポート型の新設ということで、5年間の営農継続に不安のある高齢農家でも協定参加しやすくなるようにサポート体制の強化が図られてはいる。しかし、実際には他人の農地まで引き受ける余力のある農家がどれだけいるか疑問である。また、協定外の作業受託団体を見つけることも難しいのでは、と思われる。

男性	30代	和歌山	公務員	その他	<p>テーマ⑪(野生鳥獣について)</p> <p>年々鳥獣による農作物被害は増加している。特にイノシシについては、5年前では考えられないほど出没地域が拡大している。農家による捕獲努力、狩猟者への捕獲支援も継続されているが、個体数の減少は実感できていない。また、捕獲と併せて取り組んでいる防護策のおかげで取り組んだ畑の被害は防げているが、逆に被害地域の分散拡大にも繋がっている可能性もある。というのも、最近、民家付近への出没頻度が高くなっている。民家付近では狩猟者も銃を使うことができず、対応は専ら警察、行政職員で追い回している現状であるが、対応のマニュアルがないことも、足並みがそろわない一因となっている。今後一層の増加が考えられる、民家付近への野生獣出没時の対応について、ある程度の統一した指針を示してもらいたい。</p>
男性	70代以上	山口	農業	農業経営、担い手	<p>生産物の販売代金が安く、それに反して必要経費、肥料、農薬代、光熱費(電気、水道、油代)等は年次高くなっている。我が家では米14ha、麦3ha、大豆3haを作付栽培し経営しているが毎年赤字決算となっている。作付制限までして、何故外国米を輸入されるのだろうか。努力している農家に再生産でき得る御政援をお願いします。</p>
男性	70代以上	山口	農業	農地、耕作放棄地対策	<p>現在借地は市内3部落で、2部落は全部の水田を借り入れている。5~6反作られる人は、作ると赤字になるといって耕作を放棄されている。又、水利、農道等条件の悪い所は誰も借り手や、作り手がない。国はこうした農地を早急に基盤整備されて耕作放棄地を解消して下さい。</p>
男性	70代以上	山口	その他	農村振興、中山間対策	<p>中山間地域で安定した普通の生活を維持していく為には、米価の安定も必要だが、昔から地域によっては、林業との兼業農家が多い。長い間川上の政策(補助金が多い)等で充実しているが川下の対策が弱い。国産材価格が低迷している。輸入材に対抗出来ない状態が続いている。林業はCo2減少の為又、日本農業を守る為には、特に中山間地帯は農業と林業を一体化した政策を考えるべきである。長い間植林を推奨して投資させた事が生かされていない。汗水流して植林した山林が国産材の需要がない為、山で放置され将来の為、子孫の為にと頑張った貴重な財産が失われている。もっと、公的な建物(学校や幼稚園、保育園等)に体にも心にも優しい木材、特に国産材を使用する等、川下の対策を考えるべきである。</p>
男性	60代	山口	農業	農業経営、担い手	<ol style="list-style-type: none"> 1.米作が突出する助成で、畑作に野菜や果樹などが不公平、不利となる。 2.大豆・麦作など助成減で装備した大型農機で倒産の危機となる。 3.営農組織への突出した助成では、個人の意欲ある農家が地域の中で不利となる(不公平)。 4.意欲ある若手農業者の育成が望まれる。
男性	50代	山口	農業	農地、耕作放棄地対策	<p>私は中山間地域で農業生産法人を経営しています。中山間地域は未整備田も多く、整備田も規模が小さく作業効率が大変悪いので再度将来をみすえた整備をお願いしたい。未整備地域や耕作放棄地は公的機関が買い取るとか借受側との間に入り整備費は借地料として毎年支払っていただく方法もあると思います。</p>